

平成29年7月10日号（第175回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

当医療センターでは、平成25年6月より産科病棟を休止していましたが、平成27年10月より再開し、地域の周産期医療の充実に向けて日々尽力しています。

今回の阿伎留通信は、産科等の診療科を担う病棟より

－「3階西病棟のご紹介」－

をテーマに河田 かおり 看護師長よりお話しさせていただきます。



3階西病棟は産科、婦人科、眼科、乳腺外科の女性患者さんのみが入院する病棟です。産科は、外来での診察から医師と病棟助産師が協力して担当しており、妊娠から分娩、産後まで継続した看護を行っています。また婦人科、眼科、乳腺外科では、主に手術を受ける患者さんが入院されます。31床のベッド数の半数が個室になっており、リラックスして入院生活をお過ごしいただけます。

❖病棟の特徴と取り組み❖

産科病棟は平成27年10月の再開後、妊婦さんに優しいお産として、硬膜外麻酔による無痛分娩を行っております。また麻酔科や小児科と連携し、より安全な分娩体制を整えています。再開から1年半で220人の赤ちゃんが元気な産声をあげました。無痛分娩で出産された産婦さんからは「リラックスして穏やかな気持ちでお産が出来た」と、良い評価をいただいています。



また出産以外にも、女性はライフサイクルで役割が変化し、病気により女性特有の悩みが出現することが多くあります。患者さんが安全に手術を受けられ、安心して入院生活が過ごせるように、チーム連携を活かしたケアに取り組んでいます。

☆スタッフ紹介☆

<医師> (平成29年7月1日現在)

- ・産婦人科：常勤2名 (内、女性1名)
- ・小児科：常勤2名 (内、女性1名)
- ・乳腺外科：常勤2名 (内、女性1名)
- ・眼科：常勤1名

産婦人科と眼科には非常勤の女性医師もいます。また、小児科兼務の医師も女性です。

<看護スタッフ>

- ・助産師：10名
- ・看護師：5名
- ・看護補助者：1名

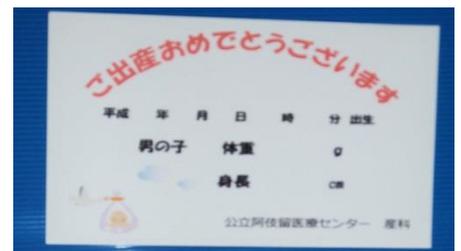
病棟では女性の立場で患者さんの悩みや生活をサポートいたします。

☆出産のお祝い☆

出産は、女性にとって人生の一大イベントです。陣痛や出産のストレスを乗り越え、赤ちゃんが無事生まれたときの感動はひとしおです。当病棟では新しいご家族の誕生を祝い、ささやかなサービスをご用意しております。

1. お誕生メッセージカード

裏面には、担当助産師より心のこもったメッセージを贈らせていただきます。



2. お祝い膳

お祝い膳は出産後3日目にご提供しています。「豪華でびっくり！記念に写真を撮った」や「出産がんばって良かったと思えた」等、たくさんの評価をいただいています。更に良いお祝い膳の提供に向け、栄養科も努力しています。



お祝い膳メニュー (例)

カプレーゼ 南仏野菜のジュレ スープ 牛フィレスステーキ エビフライ デザート

3階西病棟では、バースプランに沿ったケアが提供できるように、また入院生活を心地よく過ごせるようにスタッフ一同、笑顔の対応を心がけています。

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)